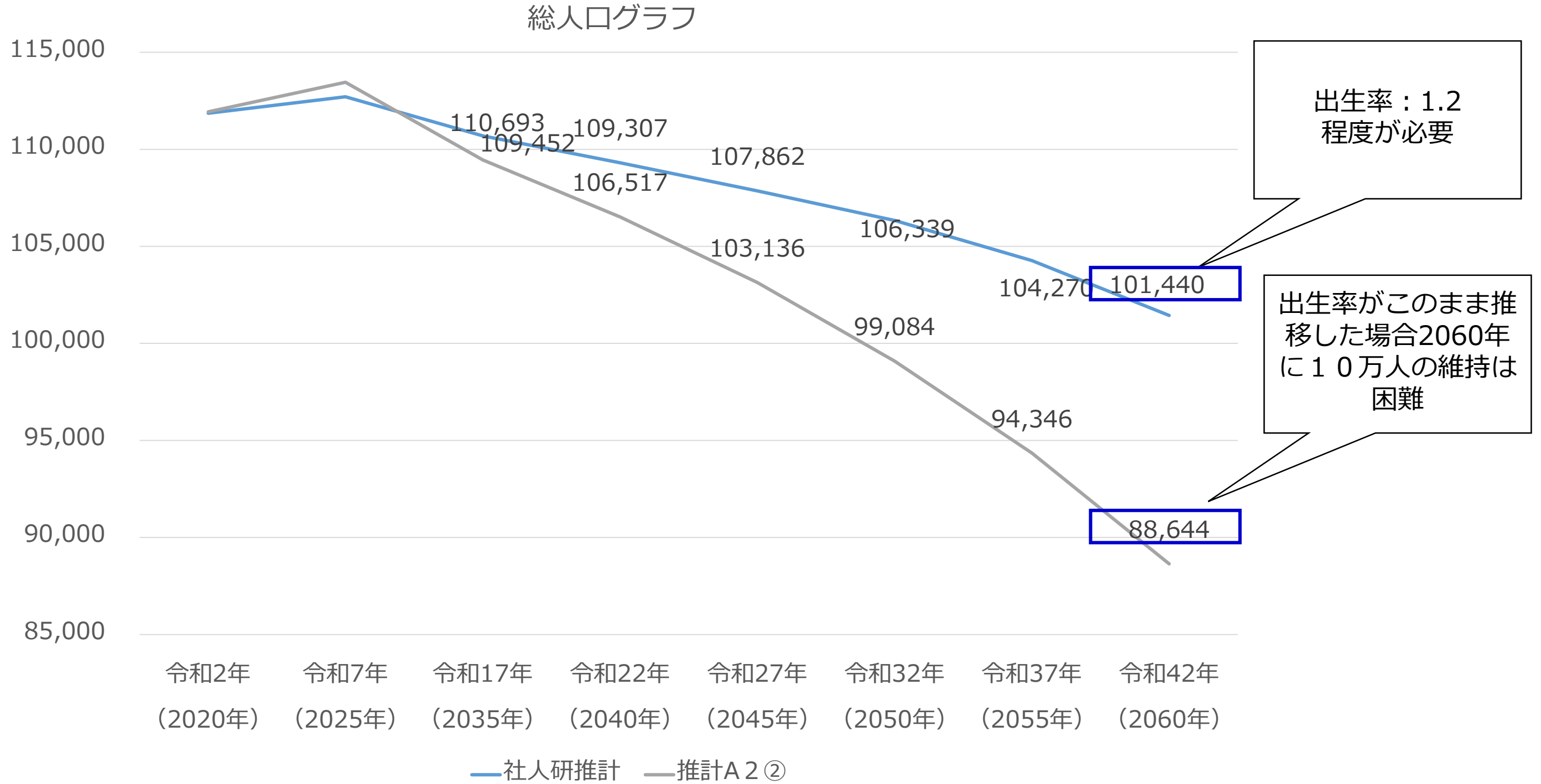


人口ビジョンの概要について

国立社会保障・人口問題研究所及び厳しい想定での推計グラフ

	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	令和37年 (2055年)	令和42年 (2060年)
社人研推計	111,859	112,707	111,828	110,693	109,307	107,862	106,339	104,270	101,440
独自推計	111,936	113,455	111,833	109,452	106,517	103,136	99,084	94,346	88,644



【社人研の出生率】

2025年	2030年	2035年	2040年
1.16562	1.19816	1.23028	1.23450
2045年	2050年	2055年	2060年
1.23667	1.24290	1.24290	1.24290

【独自推計の出生率】

2010年～2023年の県の統計の値に基づく傾斜の仮定値

2025年	2030年	2035年	2040年
1.06320	0.93570	0.80820	0.68070
2045年	2050年	2055年	2060年
0.55320	0.42570	0.42570	0.42570

**2060年に
人口10万人の維持は厳しい状況**

※移動率については、社人研の仮定値を使用

人口の将来展望を向上させる取組及び目標値

○ 人口の将来展望を向上させる取組

①出生率の向上、②子育て支援の充実、③健康寿命の延伸、④転入促進・転出抑制、⑤雇用の創出 等

○ 出生率及び移動率の目標値

【出生率】

- ①2010年～2023年の県の統計の値に基づく傾斜の仮定値
- ②上記①の傾斜が2030年以降、1.00で下げ止まると仮定

2025年	2030年	2035年	2040年
1.06320	1.00000	1.00000	1.00000
2045年	2050年	2055年	2060年
1.00000	1.00000	1.00000	1.00000

【純移動率】

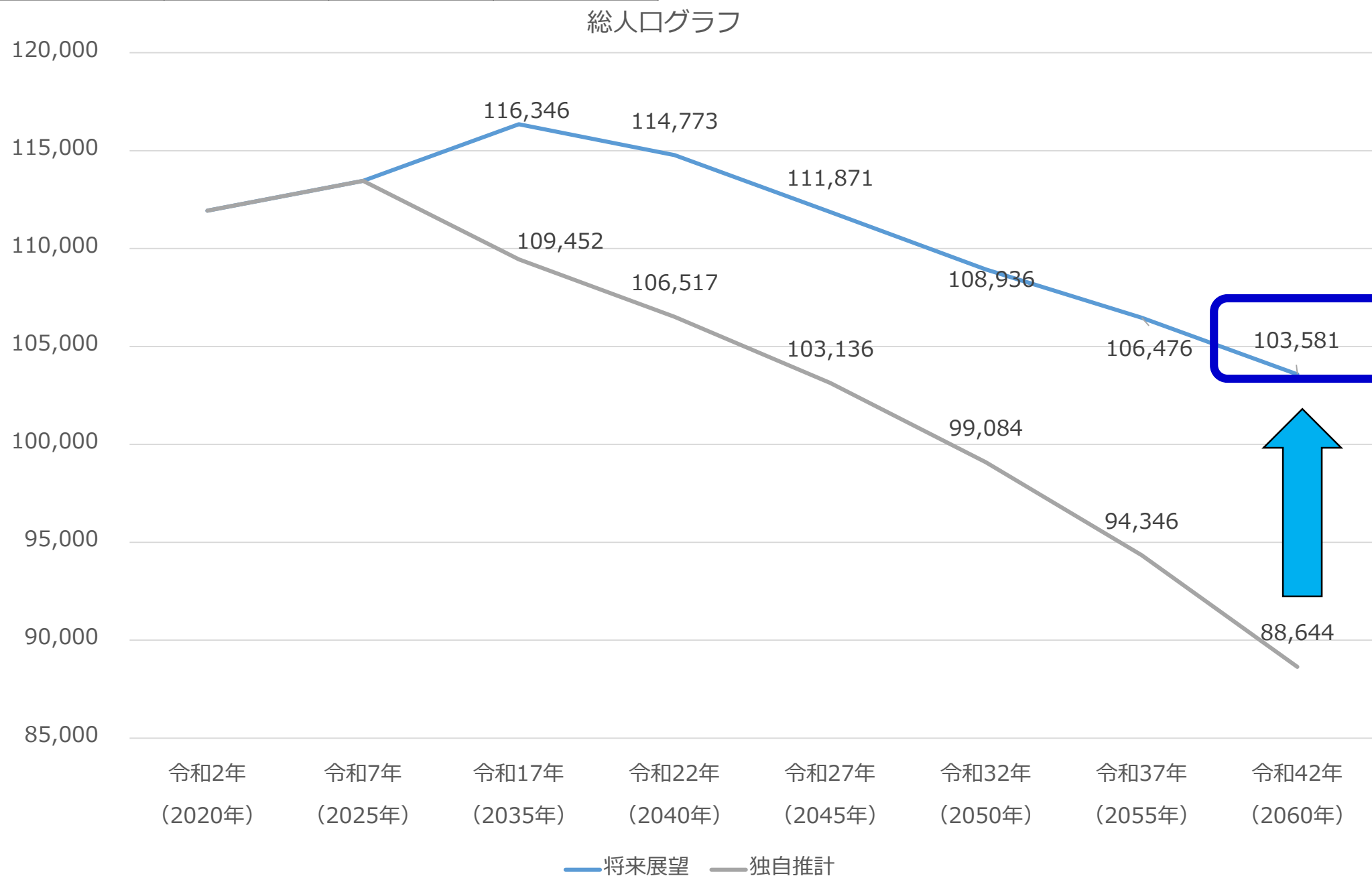
- ①「2015年⇒2025年の純移動数」から、5年期間の移動率を算出（住民基本台帳）
- ②上記①の移動率が将来まで継続すると仮定

【目標値】

【出生率】： 1.00を維持

【純移動率】： 過去10年間の平均を維持

**2060年に
人口10万人の維持が可能**



※社人研の移動率の場合、2060年で
人口96,811人の試算

	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	令和37年 (2055年)	令和42年 (2060年)
将来展望	111,936	113,455	115,610	116,346	114,773	111,871	108,936	106,476	103,581
独自推計	111,936	113,455	111,833	109,452	106,517	103,136	99,084	94,346	88,644